

福岡都市圏大学合同「面接対策ワークショップ」

①グループディスカッションで就活スタートダッシュ！

平成 29 年 2 月 4 日（土）13:00～17:00
福岡工業大学 E 棟 2 階 会議室 1,2
講師：株式会社 マイナビ九州支社
就職事業本部 企画広報統括部
九州ブロック長 小田 浩史 氏
ほかキャリアサポート課より 5 名



平成 30 年度採用に向けた就職活動解禁まであと 24 日となった 2 月 4 日（土）、福岡都市圏の 8 大学から 49 名が参加して、採用面接における“グループディスカッション”を想定したワークショップを行いました。本ワークショップは、もともと国公立大学コンソーシアム・福岡の大学間交流事業として開催していたものですが、コンソーシアム・福岡が活動を終了した現在も、参加者の口コミが評判となり参加者を増やしながら毎年福工大で実施しています。

当日は、E 棟 2 階会議室に参加学生が集結。（株）マイナビ九州支社の全面的な協力のもと、13 時から 4 時間のプログラムがスタートしました。まずは、講師の小田ブロック長より就活の概要について説明がありました。「就活解禁日までに 2 日に 1 社の企業研究・1 日 10 問の試験対策でスタートダッシュを切ろう！」というエールに学生の表情がグッと引き締まっていました。

続いて、決められたテーマについてグループとして結論を導き出すグループディスカッション。各グループにマイナビの講師陣がつき、学生は議論する人と観察する人でペアを組むことで具体的なフィードバックを受けることができました。参加学生は、最初に「“ビジネス感覚”と“チームで結果を出す”ことを意識するように」というヒントを貰っていたものの、初めての経験に四苦八苦の様子でした。初対面の相手と対話し、いかにグループとしてまとめるか、またその根拠をどう説明するのか等々、制限時間ギリギリまで真剣に向き合う姿が印象的でした。

4 回のディスカッションを通じ、講師陣からは「まず声が小さすぎる。」「ただ意見を出し合うだけなら、学食の雑談と同じ。」「常に見られているということを意識して！」等の助言が飛びました。その他「最初に座席表を作ると名前呼び合え、雰囲気良く話ができる。」や「書記役はただ書き留めるだけでなく、確認や図式化等の整理も大切。」といった具体的なヒントを提供いただきました。

ワークショップ終了後も他大学の参加者と活動内容の振り返りを行ったり、講師に個別に質問したり、17 時を過ぎても学生の熱気は冷めることがありませんでした。

次回は 2 月 18 日（土）、本番さながらの模擬面接を実施します。

（大学・地域連携推進室）



参加学生【合計 8 大学 49 名】

福岡工業大学 28 名(うち修士 1 年 7 名を含む)、九州工業大学 1 名、九州産業大学 1 名、西南学院大学 8 名、福岡大学 1 名、福岡教育大学 2 名、福岡女子大学 6 名、中村学園大学 2 名

掲示期間 H-28-281
2 月 8 日～23 日

この件のお問い合わせは広報課